



令和3年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 4月号

# みやがや

<学校教育目標>

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切にし、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】 さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。【かかわり合い】

## 「新たな年のスタート」

学校長 小宮 寛之

例年より早く、桜の花が開花し、暖かな一日であった3月19日、本校第113回目の卒業式が行われました。

「ピンチをチャンス」に変える発想をもち、自分らしさを大切に、夢に向かって一步一步進んでほしいこと、そして、いつ、どんな時も心豊かに、人と人のつながりを大切にしてほしいとのメッセージと宮谷小の校歌を作詞してくださった高田敏子さんの「水のこころ」という詩を卒業生に贈りました。

### 「水のこころ」

高田敏子

水は つかめません 水は、すくうのです 指をぴったりつけて そおっと 大切に  
水は つかめません 水は、つつむのです 二つの手の中に そおっと 大切に  
水のこころ も 人のこころ も

さて、117名の新1年生を迎え、114年目の宮谷小学校がスタートいたします。

新しい生活の始まりには、誰でも期待と不安を抱くものです。また「はじめの一步」を踏み出す際には、相当の気力、体力が必要となります。入学した1年生はもちろんのこと、進級した2年生から6年生にとっても、新たな学年をスタートさせる4月は、心身にかかる負担は大きいものです。

そこで、学校では、子どもたち一人ひとりに対する気配りと支援をより一層、丁寧に行うよう努めます。ご家庭や地域におかれましても、子どもたちの様子を温かく見守っていただきながら、子どもたち一人ひとりが「はじめの一步」をほどよい緊張感をもって、スムーズに踏み出せますよう応援していただければ幸いです。また、何かご心配な点がございましたら遠慮なく学校にお知らせください。

まだまだ、コロナ感染拡大の状況が見通せない新年度のスタートとなりますが、新たな発想や知恵を出し合いながら、「おもしろそうやってみたい」「どうなっているのかな、不思議だね」という知的好奇心を引き出し、「やった、できた」「なるほど、そうだったのか」「わかったぞ、自分ができる」という自信、自己有能感を育み、「Aさん すごいね」「いっしょにがんばってよかった」など、自分は認められているという存在感・安心感を実感できる学校生活を実現できるよう、全職員一丸となって取り組んでまいります。

令和3年度も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。